ふかまちのまど

第二一八号　一二年七月一日
発行元　深町連合町内会
連絡先　☎六三―三八八二

連合町内会活動報告

町民運動会開催

体育部長　林　洋祐

五月晴れの中、深小学校校長を始め、素晴らしい先生の御臨席と町民も皆様の参加を頂き、五月二十七日午後開会いたしました。

競技に入り、六年生の思い出となるリズム感あふれる太鼓踊りで始まり、次は未来のスーパーヒーローのかけっこ、お母さんと泣く子もいました。子供会の一年間進では、個人個人が自分の目標を力強く発表し、お父さまリレーでは、お母さんが子供と走る喜びを感じながら楽しまれている様子が伝わりました。

顔が面白かった生徒が、少々抵抗があるが、参加くださり、子供達は先生の面白い顔に親しみを感じて、子供心に素晴らしいと思った。残る生徒は、深町の現在のパワーを見ました。青年？の力強さを。全員参加の心温まる運動会でした。

来年より、多くの参加を頂き、楽しみましょう。町民の皆様、各団体の皆様ご指導、ご支援ありがとうございました。終了に、来年の大会に意見を下さる事をお願い致します。

第八回市民ゲートボール大会に出場

ゲートボール担当　原　勇吉

六月十七日三原運動公園にて、雨天が心配されていたが当日は絶好のゲートボール日和。要旨安全で身近かで気軽なスポーツを楽しむ活動の場をひろげる為ゲートボール大会が開催されました。

出場チーム二十地区中、男子十四チーム、女子十二チーム、と減少しており、深町は男子、女子にはチーム編成が出来ず、男女別にチームとして出場しました。

☆第一試合　対戦成績は次の通り。

深町パフェクト　九点　須波　二五点
第二試合　八点　本郷東　九点
（リズムは作り返し、手の打ち方が良くなかった。）
（戦ダブルタッチを繰り返し、手の打ち様がなかった。）

☆第二試合　同様に乗れず
一敗退、皆で頑張った甲斐もなく二連敗。

深小だより

よろしくお願いいたします

深小学校事務
奥田　眞里

今年度四月より、深小学校の事務職員として勤務させていただいております、奥田と申します。

以前より、尾道方面に行き来するたびに、深小学校の前を車で通ることが多く、児童のみなさんが運動場で元気いっぱい遊んでいる姿や登下校をしている様子を見かけていましたので、自分自身の中では、とても身近で愛着を感じており、そんな深小学校で仕事をさせていただける喜びを感じております。

日々、職員室での業務が中心となり、子ども達と積極的に関わる場面は少ないですが、朝、登校したときや廊下で会った時に元気に挨拶をしてくれたり、職員室に用事でやってきて、「失礼します！～年の～です。～の用事できました。」と、はきはきと言えたりする子ども達が多く、そんな子ども達からパワーをもらっています。また高学年が低学年の子ども達の世話をよくやっている姿が本当に微笑ましく、これがまた次の学年へと引き継がれていくのかと思うと嬉しく思います。また、日頃から、PTAの方をはじめ地域の方々の温かいご支援のもと、深小学校の子ども達が心身共に元気で学校生活を送れていることにも感謝し、改めて、深町は、絆のふかーい素敵な町だなと実感しております。

私自身、学校での事務職経験が浅く、まだまだ日々勉強しながらの業務で、至らぬ点も多々あるかと思いますが、微力ながら、深小の子ども達が、今後も安心して過ごせる学校環境を目指して、また本校に携わって下さる沢山の方々に感謝しながら、尽力してまいりたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

▲▲

「ふかまちのまど」　ホームページのアドレスは
http：//www. jcat. ne. jp /~fuka/top. html

サンライズ大池だより

夏祭り開催

今年もサンライズ大池で、例年どおり夏祭りを開催します。イベントや屋台など用意しますので皆様お誘い合わせのうえお気軽にお越しください。サンライズ大池の利用者の皆さんと一緒に楽しいひと時を過ごしましょう。

日時　七月二十一日（土）十八時〇〇～二十時〇〇
場所　サンライズ大池
お問い合わせ先
六〇―〇六三〇（サンライズ大池　事務局）

▲▲

下組町内会だより

第五回町内会親睦旅行（萩方面）を想う

下組町内会長　寺田　弘

六月十七日、参加者一同、気分さわやかに、四十三名を乗せたバスは六時三十分下組を出発、山陽自動車道を一路、山口方面へ車でゲーム、クイズなどに興じているうち、十時半過ぎ目的地の萩市に到着。

まず武家屋敷巡りで明治維新の傑の一人、木戸孝允（旧桂小五郎）の生家とか騎兵隊名、三吉慎蔵の野辺に朽ちた「高杉晋作」生家、明治二十七年に総理大臣を務め田中義一の銅像がある公園等を散策して「萩本陣」にて昼食、入浴をすまして、「松陰神社」、「松下村塾」へ向いました。

観光ガイドの丁寧すぎるくらいの説明に閉口したしなかったが、明治政府の感銘を受けて捕らわれて江戸へ召還され大獄で処刑される前に故郷の両親に宛てた辞世の句（遺言状）「親思う心にまさる親心、今日の音ずれ何ときくらん」と詠んだ。

「留魂録」にも辞世の句「身は維新の礎となるとも留置かまほしき大和魂」。

下積み歴史に、つい九歳で従容として死ぬ。

ここの蒲鉾店は値段が安く、ボリュームがあり、求めて学を終えバスは土産物を求めて下関へ。

ここの選手層の差は、大地区と小地区の成績はいつもの現状であり、太刀打ちできない良くなかった事が多く、試合の選手チームは、健康で少しでも上位を目指して、勝敗は気にせず、楽しく出場できるように、全員で頑張って頂きたいと思います。

▲▲

謹んでお悔やみ申し上げます

中本　アヤ子　様　（八六歳）
（中組はるかぜ講）　六月二七日

深町各種団体七月行事予定

◆連合町内会
▼市民グラウンドゴルフ大会　八日
◆上組町内会
▼公民館横草刈り　十五日
◆小学校・幼稚園
▼廃品回収　一日
▼読み語り　四日
▼サンライズ大池訪問・七夕会㈮・誕生会㈮　六日
▼PTA役員会・学区児童会　九日
▼ぴよぴよハウス㈮　十日
▼放課後子ども教室　十一日
▼英語活動　十二日
▼クラブ活動　十八日
▼終業式・個人懇談　二十日
▼校内水泳記録会　二十七日
◆如水館中学・高校
▼期末試験　二～五日
▼オープンスクール　八日
▼身だしなみ週間　九～十三日
▼消防訓練　十二日
▼オープンスクール（中学）　十四日
▼終業式　二十日
▼保護者会　二三～二四日
▼市内大会（中学）　二五～二八日
▼南部地区大会（中学）　二九～八月二日

展望席

今年五月九日の中国新聞に、「福山イグサ歴史止まる」との記事が載っていました。藺草（イグサ）は農家の大きな収入源のひとつで、かっては、深でも大抵の農家では藺草が栽培されていましたが、平成の時代になった現在、全く栽培されなくなりました。

七月の梅雨明けと共に藺草を刈り、藺泥（染土）をつけた藺草を道路の端にもズラッと並べて乾していましたが、突然の夕立に大慌てで藺草を物陰に取り込むこともありました。

また、昭和三十年代頃まではゴザ（畳表）を足踏式の織機で織っていました。深へ嫁いできたお嫁さんはゴザを織るのが大きな仕事で、今七十歳後半以上のご婦人はゴザ織りの経験がある方が多いと思います。ゴザを織るのに使うヒメ（縦糸）を作るためアラソ（大麻）を植えて、そのアラソの茎を大きな釜で茹でて柔らかくなった皮を剥ぎ、それを機械で編んでヒメにしていました。高さが二～三mになるアラソはスキッとした爽やかな独特の香りがしていました。このアラソも、ゴザを織らなくなった頃（昭和三十年代後半）には栽培されなくなったように思います。もはや深では藺草もアラソも目にすることはなくなり、一抹の寂しさがあります。

時代の流れとともに色々な農作物が深から消えていきました。大麦・粟・きび・砂糖きび・除虫菊・綿・葉たばこ・菜種…。深名産の美味しい桃や柿が深の里から消えていかないように、後継者を育てていく事が肝要かと思います。

子ども会だより

深町子ども会ソフトボールより

代表　西川雅典

町内の皆様には日頃よりソフトボールチームに多大なるご支援ご協力、誠にありがとうございます。

二月から四月の三カ月間、ニチエー中之町店に設置していましたコミュニティーボックスの贈呈式が五月二十日に行われました。

深町の皆様のおかげでたくさんの補助金を頂くことが出来、子供たちも大変喜んでいます。頂いた補助金は子供たちの思い出作りに使わせて頂きます。ご協力、誠に有り難うございました。

▲▲

深町子どもを守る会

子どもをみんなで守りましょう

深小の子どもは

○午後四時二十分頃下校します。

※日によって、異なることがあります。

○近くで、遠くで、みんなで見守りましょう。

○あいさつ、声かけをしましょう。

復活！　新生【三深会】（さんしんかい）ゴルフコンペ

去る五月三十日に新生【三深会】第一回ゴルフコンペを、京覧C・Cにて有志十一名（女性四名）の参加を得て開催しました。和気あいあいの中、楽しい一日となり、参加者の顔に睦やかに親睦をはじめられたとあらためて感じられました。

第一回成績は次のとおりです。

優勝　平岡博司
準優勝　金子勝彦
三位　佐野容子

今後は、参加者の意見を踏まえ、年間三回位実施したいと考えています。

●次回の開催予定
平成二四年十月二七日（土）
場所：京覧カントリークラブ
＊奮っての参加お待ちしています。
＊参加希望者は左記まで

代表者：西本一二三
☎（0848）63－3922
（携帯）090－5378－4111
幹事：平岡　博司
☎（0848）38－7525
（携帯）090－4104－9763

▲▲

短歌、俳句、詩

中組　仲峠講　竹内ひろみつ

畑荒らす猪憎しと思えども
餌ないよのと妻は庇（かば）うる

鞆の浦三千発余の花火見て
しばし浮世の憂さを忘れる

モノクロの写真を繰（く）りて偲（しの）ぶれば
食無き時代も子の眼明るく

「小学校でがんばった事と中学校での目標」

如水館中学一年　一山結加

私は小学校で読書と三線（さんしん）の練習をしてきました。私はがんばってきましたが、低学年のころから本を読むのがきらいで、図書室にはあまりの行きませんでした。一年生から四年生のころまでも十冊くらいで多くかりた年でも十冊くらいで夏休み前に二、三冊かりるくらいでした。

五年生になる前、作文で「五年生にマ年に書くことがあんばる事」をテーマに四年間ばかりありました。私は読書をしてきました。

読書をしてきました。ばなしがなりました。

日本小学生は買ってきました。

大きな買ってきました。

のきまして買ってきました。

のきまして買ってきました。

のきまして